

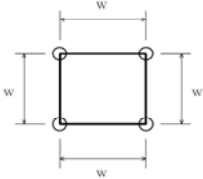
施工実績内訳書に記載した施工管理資料

施工実績内訳書の番号	1
技術の名称	〇〇工法
NETIS登録番号	〇〇-〇〇〇〇〇〇

以下、出来形の規格値、測定基準、測定箇所、品質の規格値、試験基準及び写真の撮影項目、撮影頻度[時期]については、発注者の施工管理基準等を有する場合記載すること。また、測定項目（基準高、位置・間隔、杭径、深度）、試験項目（土の一軸圧縮試験）については施工管理に基づき記載すること。

(出来形)

出来形管理基準(例)

測定項目	規格値	測定基準	測定箇所
基準高 ▽	-50	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。 1箇所に4本測定。	
位置・間隔 W	D/4以内		
杭径 D	設計値以上		
深度 L	設計値以上	全本数	

基準高 ▽

杭 No	設計値	実測値	差 (mm)	規格値 (mm)	備考
No.〇	0.000	0.000	〇〇		
No.〇	0.000	0.000	〇〇		
No.〇	0.000	0.000	〇〇		
No.〇	0.000	0.000	〇〇		
.					
.					

位置・間隔 W

杭 No	設計値	実測値	差 (mm)	規格値 (mm)	備考
No.〇	0.000	0.000	〇〇		
No.〇	0.000	0.000	〇〇		
No.〇	0.000	0.000	〇〇		
No.〇	0.000	0.000	〇〇		
.					
.					

杭径 D

杭 No	設計値	実測値	差 (mm)	規格値 (mm)	備考
No.○	0.000	0.000	○○		
No.○	0.000	0.000	○○		
No.○	0.000	0.000	○○		
No.○	0.000	0.000	○○		
.					
.					

深度 L

杭 No	設計値	実測値	差 (mm)	規格値 (mm)	備考
No.○	0.000	0.000	○○		
No.○	0.000	0.000	○○		
No.○	0.000	0.000	○○		
No.○	0.000	0.000	○○		
.					
.					

(品質)

品質管理基準(例)

試験項目	試験方法	規格値	試験基準
土の一軸圧縮試験	JIS A 1216	<p>①各供試体の試験結果は改良地盤設計強度の85%以上。</p> <p>②1回の試験結果は改良地盤設計強度以上。</p> <p>なお、1回の試験とは3個の供試体の試験値の平均値で表したもの</p>	<p>改良体500本未満は3本、500本以上は250本増えるごとに1本追加する。試験は1本の改良体について、上、中、下それぞれ1回、計3回とする。ただし、1本の改良体で設計強度を変えている場合は、各設計強度毎に3回とする。</p> <p>現場の条件、規模等により上記によりがたい場合は監督職員の指示による。</p>

土の一軸圧縮試験

改良地盤設計強度 $\times 0.85 = \text{OON} / \text{mm}^2$

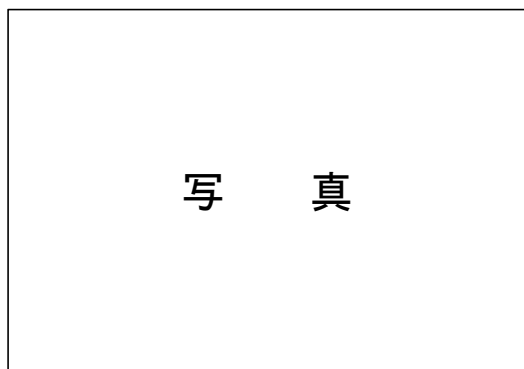
改良地盤設計強度 $= \text{OON} / \text{mm}^2$

杭 No 及び位置	①			②			③			平均値		
	圧縮強度	改良地盤設計強度 $\times 0.85$	備考	圧縮強度	改良地盤設計強度 $\times 0.85$	備考	圧縮強度	改良地盤設計強度 $\times 0.85$	備考	圧縮強度	改良地盤設計強度	備考
No.○・上	0	0		0	0		0	0		0	0	
No.○・中	0	0		0	0		0	0		0	0	
No.○・下	0	0		0	0		0	0		0	0	
No.○・上	0	0		0	0		0	0		0	0	
No.○・中	0	0		0	0		0	0		0	0	
No.○・下	0	0		0	0		0	0		0	0	
No.○・上	0	0		0	0		0	0		0	0	
No.○・中	0	0		0	0		0	0		0	0	
No.○・下	0	0		0	0		0	0		0	0	
.												
.												

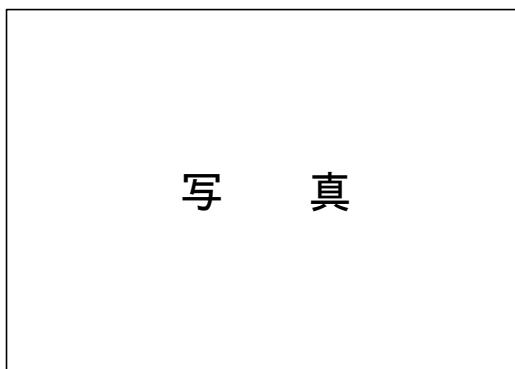
(写真)

写真管理基準(例)

撮影項目	撮影頻度[時期]
位置・間隔、杭径、深度	1施工箇所1回(打込後)
土の一軸圧縮試験	材質毎に1回[試験実施中]



位置・間隔



杭 径



深 度



土の一軸圧縮試験